

環境の都ニュース

2016.10.1 NO.89

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：江川 宗治

編集者：安楽 裕子

“環境の都” 長岡京

～ 持続可能な社会を目指して！～



長岡京市環境経済部長 滝川和宏

日々の暮らしの中で、取り巻く環境の影響を受けずして、私たちの生活は成り立ちません。時に、自然の力に驚き、当たり前のように存在している環境や、自然と人間の営みを改めて考えさせられる時があります。私たちの生活や経済活動が成り立つのも、自然環境が快適であること、経済活動と環境を両立した「持続可能な発展 (Sustainable Development)」が、今や不可欠であること、環境が劣化していけば、私たちの心身も健康な状態でなくなることを踏まえ、私たちをとりまく環境が、安心・安全で、そして何よりも快適であることの大切さを切に思うところでもあります。環境問題は、私たち一人ひとりの意識と地道な行動が求められています。そのような中、長岡京市では、いち早く、環境基本計画を策定し、さらには、「環境の都」長岡京市環境都市宣言」をおこない、多くの市民団体の皆さまをはじめ、事業者、行政等の多様な主体が力を合わせ、



着実な活動を続けてまいりました。これからも、引き続き、“環境の都”長岡京の実現に向け、私たち一人ひとりが、一地球市民として、ライフスタイルや経済活動のあり方を環境に配慮したものに変わっていく責務があることを認識したうえで、着実な行動が求められています。私もエコピーブルの一人として、かけがえのない地球環境を守るために、持続可能な社会の創出に向け、足元の課題からしっかりと取り組んでまいりたいと考えていますので、引き続き皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

環境教育 PJT

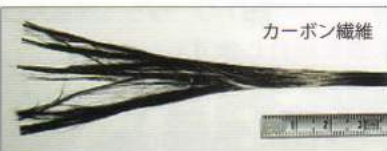
第 87 回 環境ミーティング

平成 28 年度のテーマ：ESD と環境

PJT リーダー 西村日出男

カーボン繊維のリサイクル

知られていない事実と来るべき将来に備えて！



カーボン繊維

日時：平成 28 年 11 月 17 日 (木) 夜 6 時半～

会場：長岡京市立中央公民館 2 階講座室

参加無料

講師：藤井 透 様 (同志社大学工学部教授)

ボーイング B787 には、軽くて、強いカーボン繊維 (CF) で強化したプラスチック (CFRP) が機体の 50% にも使われています。車の燃費改善には重量軽減が望まれます。CF はこれに応えられる唯一の材料とも言えます。しかし、CFRP を使った車もやがて廃棄されます。このとき、大量の CFRP が産廃として出ます。一方、CF、CFRP、航空機や車の生産時に極めて大量の CF 関連廃棄物が出ることはあまり知られていません。今回は CF リサイクルについて、これに関わる技術、問題点、今後の課題について皆様と一緒に考えたいと思います。

◆ エコ川柳 ◆

これもエコ 楽しくやって 継続を (EM)
まだゴミに ならぬとゴミ出す おじい様 (NH)
共受検 児童に負けじと 八十路婆 (WS)
一夜漬け 知識は一生 環境検定 (TH)

花を咲かそう PJT

リオ・五輪で金メダル！

PJT サブリーダー 奥西弘武

今年も7月25日に「若葉カップ」前の花壇整備を行いました。
長岡京市で行われる唯一の全国大会でバトミントン志す小学生の登竜門である大会をきれいな花で迎えてあげたいことがきっかけでした。
それから10余年が経ち、今まで何人かの世界的プレイヤーを輩出し、今回のリオ・オリンピックでは金、銅メダルを獲得する快挙を成し遂げました。考えてみれば10年前ここで活躍した子供（小学生）たちが今、成長してこんな活躍をするんだと思うと大そう感慨深いです。



孫のような小学生のために整備を終えたメンバー

まだまだその楽しみが続いていくのですが、一方私達がいつまでこの活動を続けられるのかという大きな課題も抱えているのです。



▲会場への入り口へのアプローチを飾るメダルに輝くジュニアの花



▲奮闘した金の卵たち

エコチーム PJT

2016 年前半6ヶ月のエコチームの活動を報告します

PJT リーダー 田原誠一郎

小学校の放課後子ども教室（すくすく教室）を5回、保育所でのイベントを2回、市民を対象とした夏休みのイベントを2回、家庭のエコ生活についての省エネ相談会を1回行いました。開催場所は、長岡京市内が8回、大山崎町と大阪市が各1回で、小学生約300名の他、多くの保育園児や市民の方々に参加していただきました。イベントでの出展内容は、発電に関する科学遊びが5回、竹など自然の材料を利用した工作やあそびが4回でした。7月2日（土）に開催した「ゆりかご保育園 夕涼み会」では、笹船を作り、竹で作った流れに浮かべて楽しんでいただきました。（写真1）



写真1 竹筒の流れに浮かぶ笹船

8月1日（月）の「ゆめ・まちフェスティバル」（ハービスHALL（大阪西梅田））や大山崎中央公民館「夏休み 身近な科学遊び」では、竹を使った「知恵の輪」を楽しんでいただきました。（写真2）「笹船づくり」や、「知恵の輪づくり」は、いずれも最近はあまり家庭で遊ぶことが少なくなった遊びですが、会場でご家族そろって楽しんでもらうことができ、よいイベントになりました。今年度後半には、長岡京市環境フェア（11月19日）や京都環境フェスティバル（12月10日、11日）など、長岡京市だけでなく近隣の市町の皆さんにも楽しんでいただけるイベントを予定しています。多くの方々のご参加をお待ちしています。



写真2 熱心に知恵の輪を学ぶ児童と家族

里山再生 PJT



森はワンダーランド



PJT リーダー 加藤克巳



クリスマスリース作り教室は
11月26日（土）市民広報募集です

今回は西山公園（グリーンハウス）の展示物を紹介します。
西山体育館北側、ジャブジャブ池横の管理棟に入ってみましょう。
入ったところに薪ストーブと動物の顔の正面写真（この顔何の顔）があります。次のコーナーはオオルリの巣、コゲラの空けた木の幹の穴、カブトムシの手芸品、子供の工作作品、クリスマスリースなどがどっさり並んでいます。西山で見られる草花、鳥の写真も沢山あります。奥のコーナーは学習室で市の保存樹木（長岡天満宮のムクロジなど16本）の写真パネル、長岡の生物立体地図、生物・植物・園芸関係図書もおいてあります。
ゆっくりながめていきますと、森がワンダーランド（不思議一杯の国）であることが実感できます。
【写真はグリーンハウスの入ったところ】



真夏の日差しがジリジリする晴天の一日、小泉川上流で21名の児童（保護者12名、四小スタッフ4名）が参加してすくすく教室を開催しました。集合場所の西代橋では小泉川に生息する魚類の勉強をして頂き、その後100m上流へ移動。猛暑日とはいえ、川辺はひんやり涼しく、汗もすっと引いていきます。

子供たちはすぐさま川の中へ。サワガニとりや小魚取りには丁度良い水量で、みんなもう夢中です。少し上流の砂防ダム下の深みでは環境の都のスタッフが魚釣りのデモンストレーション。20cmほどのムツが釣れて大賑わい。保護者の皆さんも参加して昔懐かしい笹船作りも行いました。手を動かすうちに大人たちも子供の頃を思い出し、親子楽しく遊んで頂きました。当日は大漁でしたが、帰り際には捕った生き物をみんな川に戻してやりました。大賑わいの日でした。



PJTメンバー 横井 徹

竹林再生PJT

ワンドの

水質浄化の取り組み



京都競馬場の南西、桂川と宇治川の水路の中間辺りに約100㎡の溜り（ワンド）があります。ここは競馬場の池や宇治川雨水対策地下トンネルの溢水も流入するなど全体的に流れが淀み易い状態になっていて、ヘドロが溜り、夏季にはアオコが発生するなど川の汚れや悪臭の原因にもなっています。この状況を改善すべく、地元の水路護岸整備ボランティアグループが約10年に亘り、このワンドの水質改善に取り組まれています。現在までにEM菌の活用など手探りで水質改善に取り組まれてきましたが、なかなか決定的な効果が見いだせない中、この春頃に当環境の都に“竹炭によるアオコ発生抑止”にも取り組みたい旨の協力依頼がありました。

早速、現地視察や専門家のご意見を伺う機会を設けるなどしながら、8月には数袋の殻けし炭を現地ワンドに沈めて頂きました。今後は、沈める炭の数を増やし効果のほどを確認しますが、更に並行して、専門家の薦める“生竹のチップによる水質浄化”にも取り組みたいそうです。いずれにしても成果の確認までには時間を要しますが、息長くワンドの水質改善に取り組む淀のボランティア活動に当方としても精一杯協力していきたいと思っています。我々の環境整備の取組みの中で排出する厄介者の不要竹材が環境改善に役立つ宝物になればこれに勝る喜びはありません。そんな日の来ることを願って活動している所です。





第8回

長岡京竹あそび

2016

—竹でつなぐ・つながる・まちづくり—

会場：長岡公園一帯（長岡天満宮内）

*雨天の場合は10月9日(日)に順延 *駐車場はありません。

入場無料

10月8日± 12:00~20:00

長岡京竹あそび

会場：長岡公園一帯

「せつなん・しなま・まじり」



京都府地域力再生活動

竹遊び準備作業に奮闘中



9月に入り”第8回竹あそび”に向け本格的に準備作業を始めています。今年の環境の都の竹灯りのテーマ「富士山」をどう演出するか、また、過去の反省を生かすべく会場づくりにも知恵を出し合っている所です。まだまだ残暑厳しい中、今日(9/12)は“花にしき”のメンバーの皆さんにも力を借りて竹林内の遊歩道に撒く竹チップづくり、夜の竹林の幽玄の世界を演出するろうそくを入れる竹筒の材料となる太竹の確保を行いました。チップは廃竹の有効活用のため、肥料や土壌改良などに活用していますが、竹あそび会場では竹林内などに撒いてふかふかした歩きやすい歩道を作る材料に使います。準備作業に並行して本来の放置竹林整備として、竹林の清掃や古竹の焼却なども行い、みんな汗だくの半日でした。これからも竹あそび本番までは毎週月曜日に準備作業が続きます。頑張る原動力は何と言っても来場者の



喜び顔です。そして日々頑張るメンバーに感謝、感謝です。
竹林再生 PJT 湯川圭造



ミヤコちゃんのエコまんが
作：新野 聡

第3回「長岡京環境検定」開催

中小路市長を始め、9才の児童、83才の高齢者、臨月の妊婦さんなど58名が受検されました。中には勉強会を持たれて集団受検された老人会の方々もおられました。主に「広報長岡京」から出題され、建物環境、地域環境、自然環境、人の活動、地球環境など幅広い環境の問題に受検者は挑戦されました。



2016年 環境年間行事日程 直近版(10月~12月)

	共通、広報	環境教育	エコチーム(地球温暖化防止等)	里山再生・西山F環境探検隊	ピオトープ	竹林再生	花を咲かそう、等
10	第8回長岡京竹あそび(10/8)			森林ボランティア(10/2)	竹炭焼き(10/13,27)	竹林再生活動(毎週月曜)	環都ニュース発行(10/1)
	環都月例会議(10/11)		エコチーム Me(10/18)	森林ボランティア(10/16)	すくすく教室長法寺(10/24)	竹あそび(10/8)すくすく神足小(10/15)	体育館/公民館・緑サポ
	乙訓リサイクルフェア(10/16)			西山F環境探検隊-3(10/22)		3PJT 合同会議(10/18)	
11	環都月例会議(11/8)			森林ボランティア(11/6)	竹炭焼き(11/10,24)	竹林整備(毎週月曜)	
	第8回長岡京市環境フェア(11/19)	環境教育 Me(11/17)	エコチーム Me(11/15)	X' マスリース教室(11/20)		すくすく教室四小(11/19)	体育館/公民館・緑サポ
						3PJT 合同会議(11/15)	
12	京都環境フェスティバル(12/10,11)			森林ボランティア(12/4)	竹炭焼き(第2,4木曜)	竹林整備(第1,3月曜)	体育館/公民館・緑サポ
	環都月例会議(12/13)		エコチーム Me(12/20)	森林ボランティア(12/18)			正月飾り作り講習会(12/)
						3PJT 合同会議(12/21)	

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。

一口年間1,000円(一口以上)あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。

どなたでも参加できます。問合せは下記の江川まで。

Tel. 075-957-6169 E-mail egawam@kyoto.zaq.ne.jp

ホームページもご覧下さい。
各PJTの活動内容写真などがあります。
「長岡京市環境の都づくり会議」で検索してください。
<http://kankyounomiyako.jimdo.com/>
事務所：多世代交流ふれあいセンター内
〒617-0812 長岡京市長法寺谷山 13-1

編集後記

私達はこの歴史の都、長岡京市を「環境の都」にしたいと活動しています。皆様のご意見をお寄せ頂ければ、大変励みになります。「エコ川柳」の投稿もお待ちしております。